

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	帝塚山HUG組		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 5日 ～ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年 2月 5日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日や長期休暇などの学休日に楽しめるイベントを行っている。また、地域のイベントに参加したり、遠出をしたりと子どもたちが飽きないような活動プログラムを計画している。	季節にあったイベントを行っている。また、地域で行われるイベントに参加したり交流のある他デイとの合同のイベントを計画し行うなどさまざまな活動プログラムを準備している。	今後も子どもたちを楽しんでもらえるさまざまなプログラムを計画する。そのためには、スタッフからだけではなく子どもたちや保護者、地域の方からも情報を収集し、参加できそうなイベントを見つける。
2	子どもたちが楽しみにして通所している。他の年齢の子とのかわりも多く、2歳～中学生までと一緒に活動している。	安心して通所して頂けるようにスタッフ間の連携を取り、保護者ともこまめな連絡を取っている。子どもたちの間に年齢差があるので、特に年齢の低い子どもに対してはスタッフの目が行き届くように活動のサポートをしている。	保護者との連携を深め、子どもたち一人ひとりが安心して通所できるようにする。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所で作成しているマニュアルなどの周知が保護者に徹底されていない。避難訓練等も行っているが、訓練を行っていることを知らない保護者も多い。	マニュアルなど作成し、いつでも手に取り見ていただけるように事業所入口に置いているがそのことを知らない保護者も多い。契約時に説明など行っているが、契約から時間が経つ場合、忘れてしまっている保護者も多い。	契約から時間が経つ保護者に対しては再度の説明を行う。マニュアルの内容などに改定があった場合は、すべての保護者に周知を徹底する。
2	支援開始前や終了後に職員間での打ち合わせが出来ていないことが多い。支援の内容や支援の振り返りなど必ずはできていない。	必ずは出来ていないが必要があればその都度適宜行っている。パート職員は出退勤時間が変則的であったり、出勤後送迎に出たりと打ち合わせを行うタイミングがない。	支援内容などの共有は、その都度口頭で行うか、事務所内の子どもたちや保護者から見えない場所にホワイトボードを設置し、お迎えの変更や支援について共有できるようにしている。
3	保護者向け評価表のなかで、「わからない」の項目のチェックが多かった。	事業所内での取り組みや活動内容など、保護者に周知されていない。HPやSNSを通して発信はしているが保護者からの閲覧数は少ない。	HPやSNSについての周知を行う。契約時に案内を行ったり、紙媒体でのお知らせ配布時にHPなどのURLを記載する。